資料2

木材需給動向について
（関東地区）

2022年１月

林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html
（QRコードからもアクセスできます。）

さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計データや、林野庁の施策に関するトピックス、セミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月中旬に更新しています。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html

目次

1　価格の動向

（１）　原木価格（原木市場・共販所）

ア　スギ（全国）

イ　スギ（関東地区）

（２）　製品価格

2　工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

（１）　製材（全国・関東地区）

（２）　合板（全国）

（３）　チップ（全国）

3　住宅着工戸数の動向

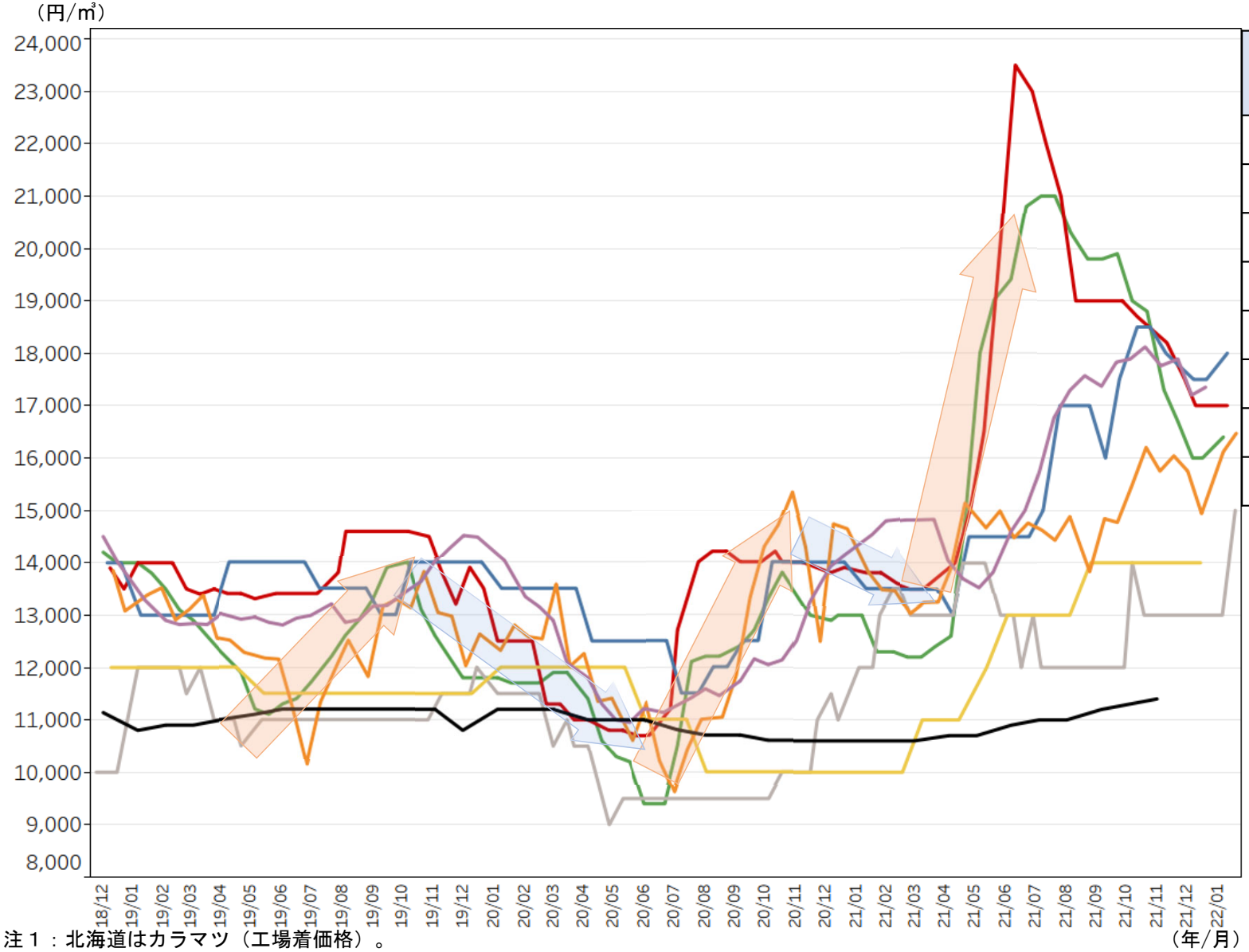
（１）　全国の住宅着工戸数

（２）　関東地区の住宅着工戸数

4　木材輸出量

1　価格の動向　（１）原木価格（原木市場・共販所）
ア　スギ（全国）　径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- 例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、 2021年に入ってからは４月以降、価格が上昇する地域が多く見られる。九州地域では価格が高騰したが、直近では全国的に高止まり傾向。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比119%から140%となっている。



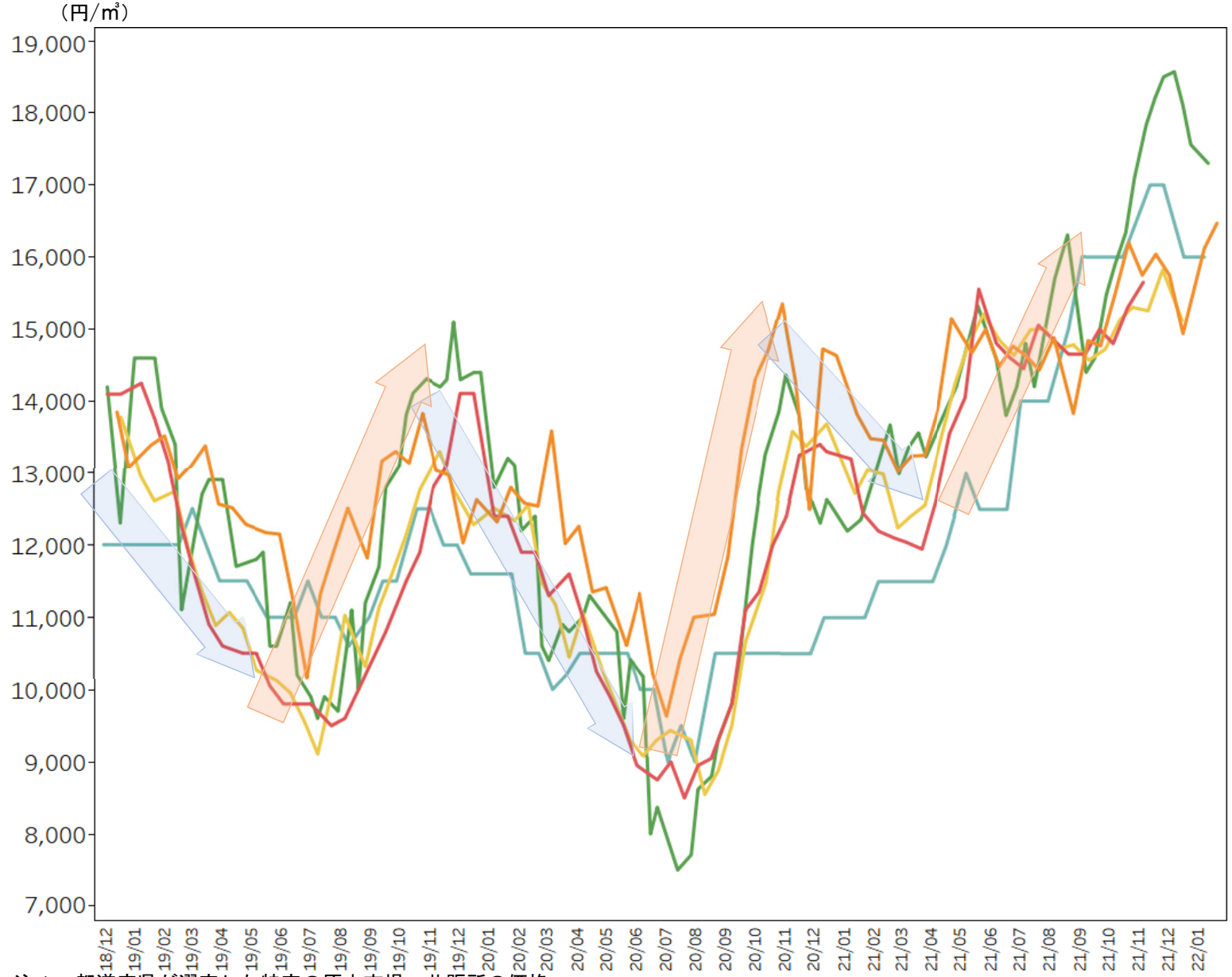
都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	11,400	10,600	108%
秋田県	17,350	14,130	123%
栃木県	16,470	13,820	119%
長野県	14,000	10,000	140%
岡山県	15,000	12,000	125%
高知県	18,000	13,500	133%
熊本県	17,000	13,800	123%
宮崎県	16,400	13,000	126%

※栃木県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については１月、秋田県及び長野県については12月、北海道については11月の値を使用。

注１：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注２：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

イ　スギ（関東地区）　径24cm程度、3.65～4.0m（2018年12月～）

- 例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、 2021年に入ってからは５月頃から上昇が見られる地域が多く見られる。
- 直近のスギ原木価格は、対前年比111%から146%増となっている。



都道府県	2021年直近※	前年同期	前年同期比
福島県	15,650	12,000	130%
茨城県	15,125	13,685	111%
栃木県	16,470	13,820	119%
群馬県	17,300	12,360	140%
静岡県	16,000	11,000	146%

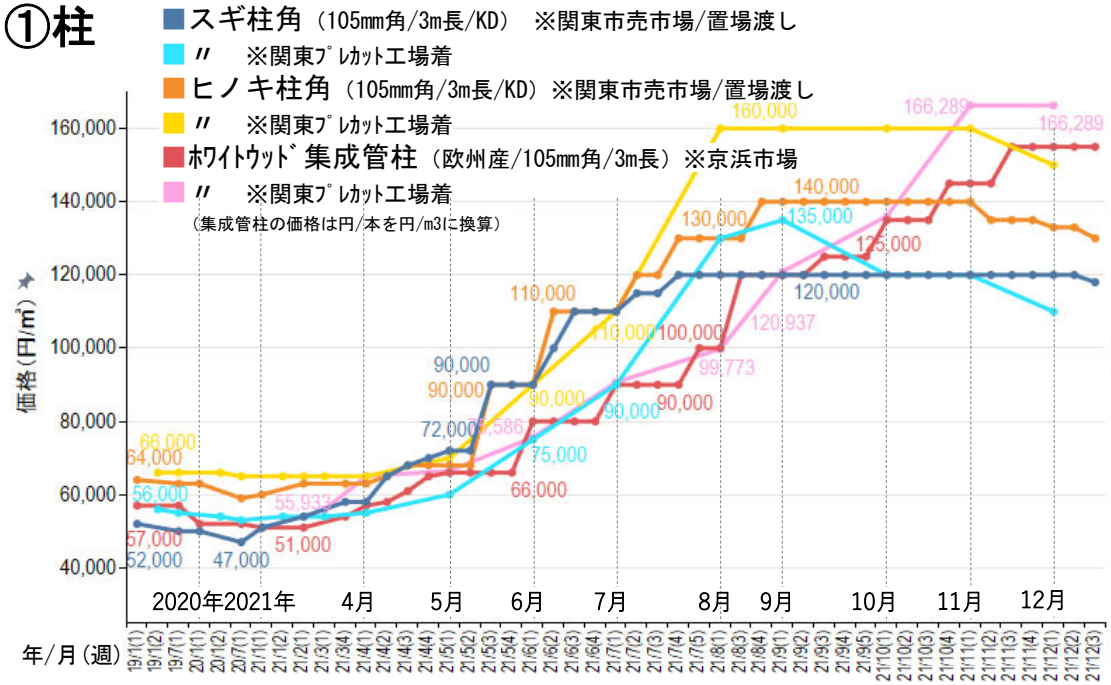
※栃木県、群馬県及び静岡県については１月、茨城県については12月、福島県については11月の値を使用。

注１：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

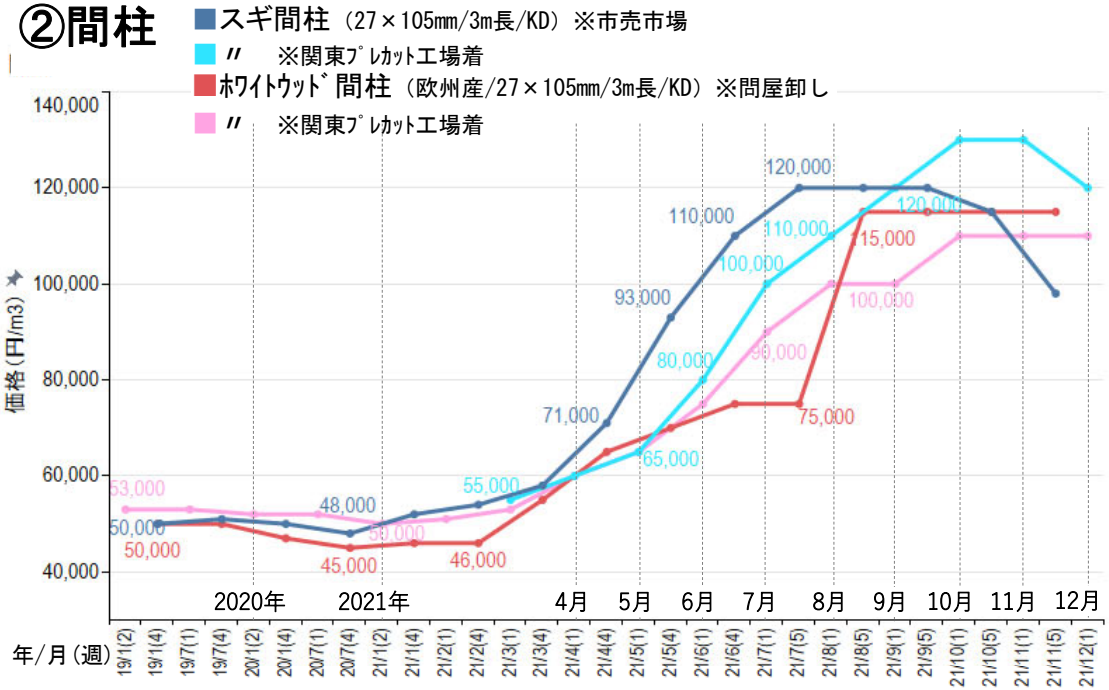
（２）製品価格

- **輸入材製品価格**は、北米、中国、欧州など世界的な木材不足に加え、コンテナ不足による運送コストの増大等により**高騰**。
- **国産材の代替需要により国産材製品価格も上昇し、直近では合板は上昇傾向、製材は高止まりか下落傾向となっている。**

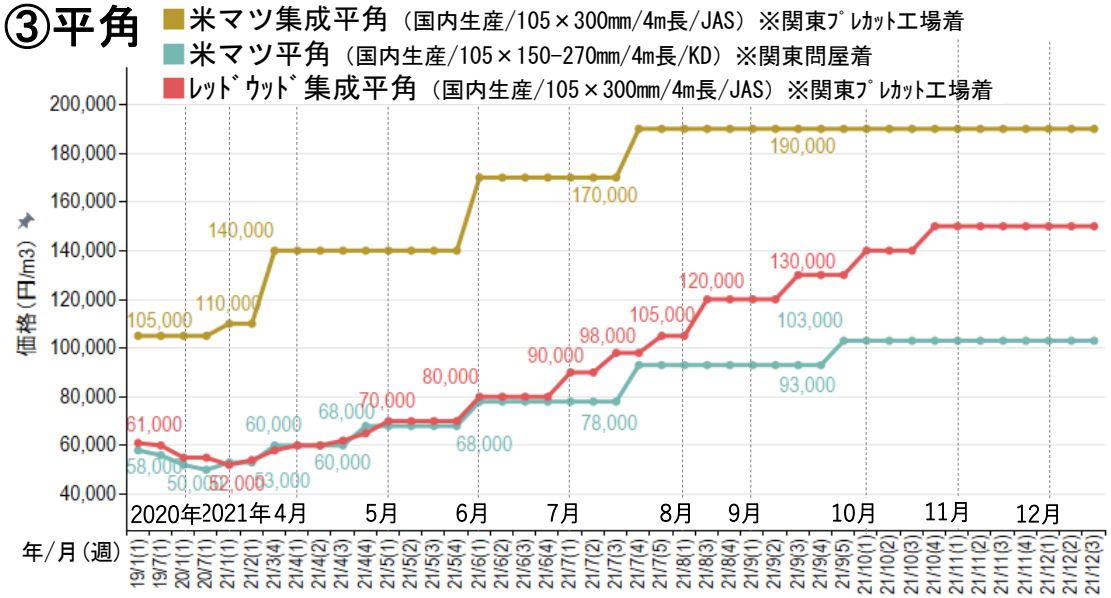
①柱



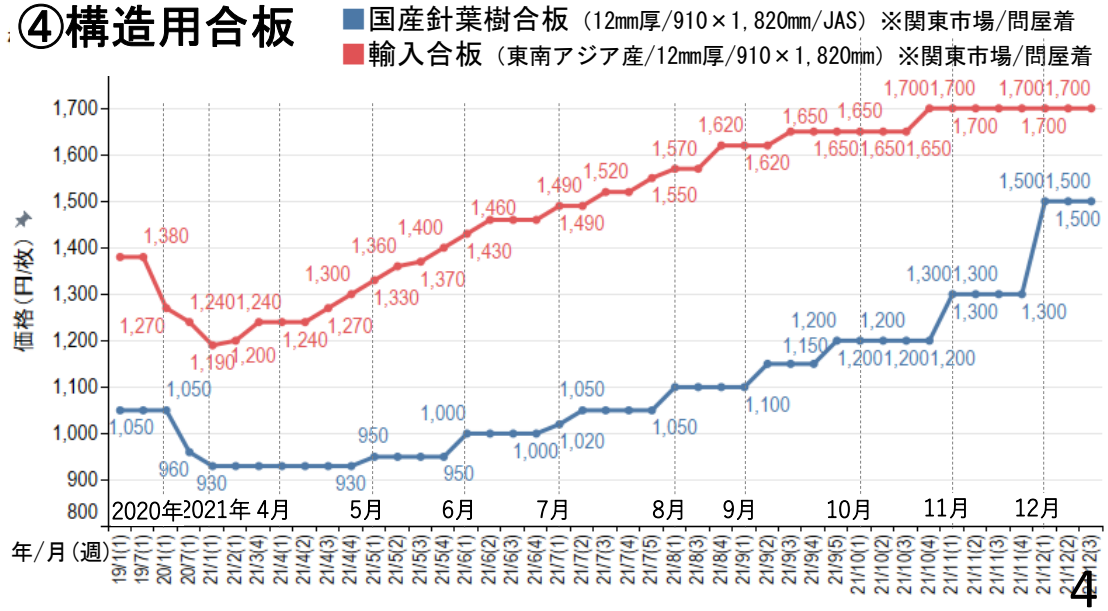
②間柱



③平角



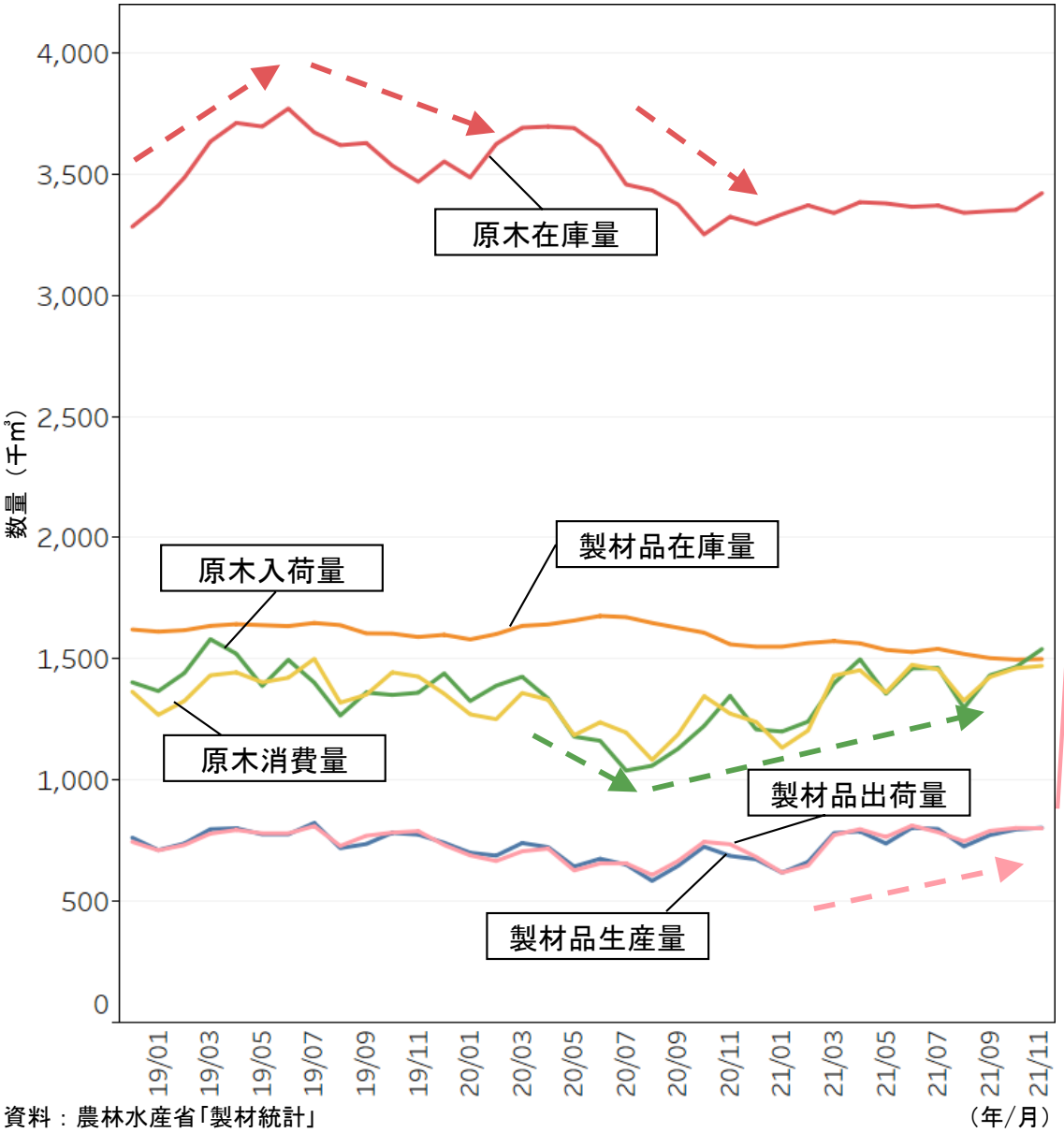
④構造用合板



資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

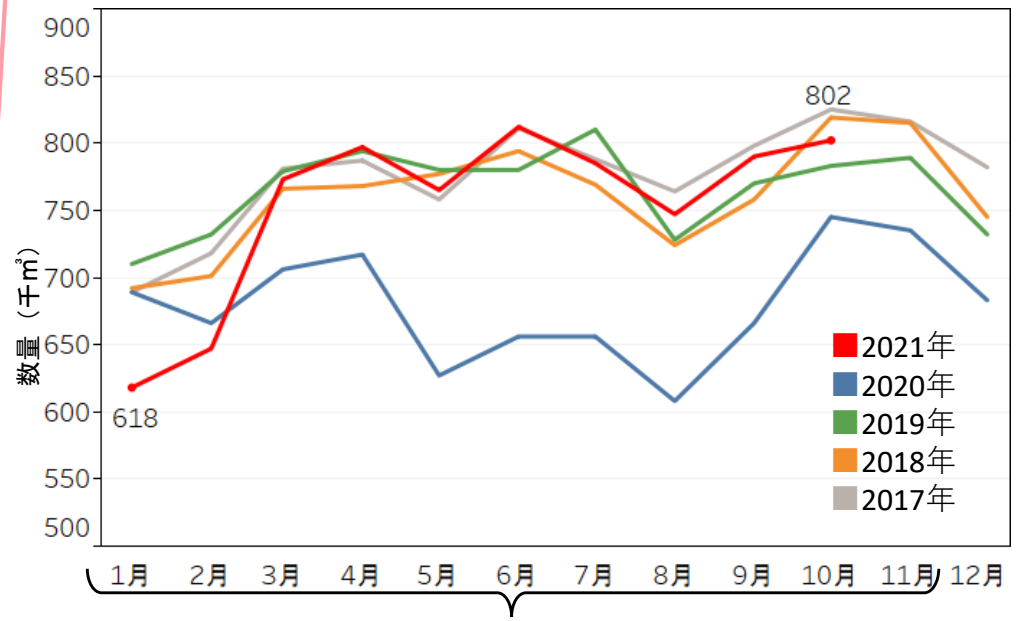
2　工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向
（１）製材（全国）

- 2021年１～11月の原木の入荷量は15,352千㎥（2019年比99%）。
- 同様に製材品の出荷量は8,337千㎥（2019年比99%）、コロナ禍前の水準となっている。



資料：農林水産省「製材統計」

製材品出荷量の月別推移（全国）

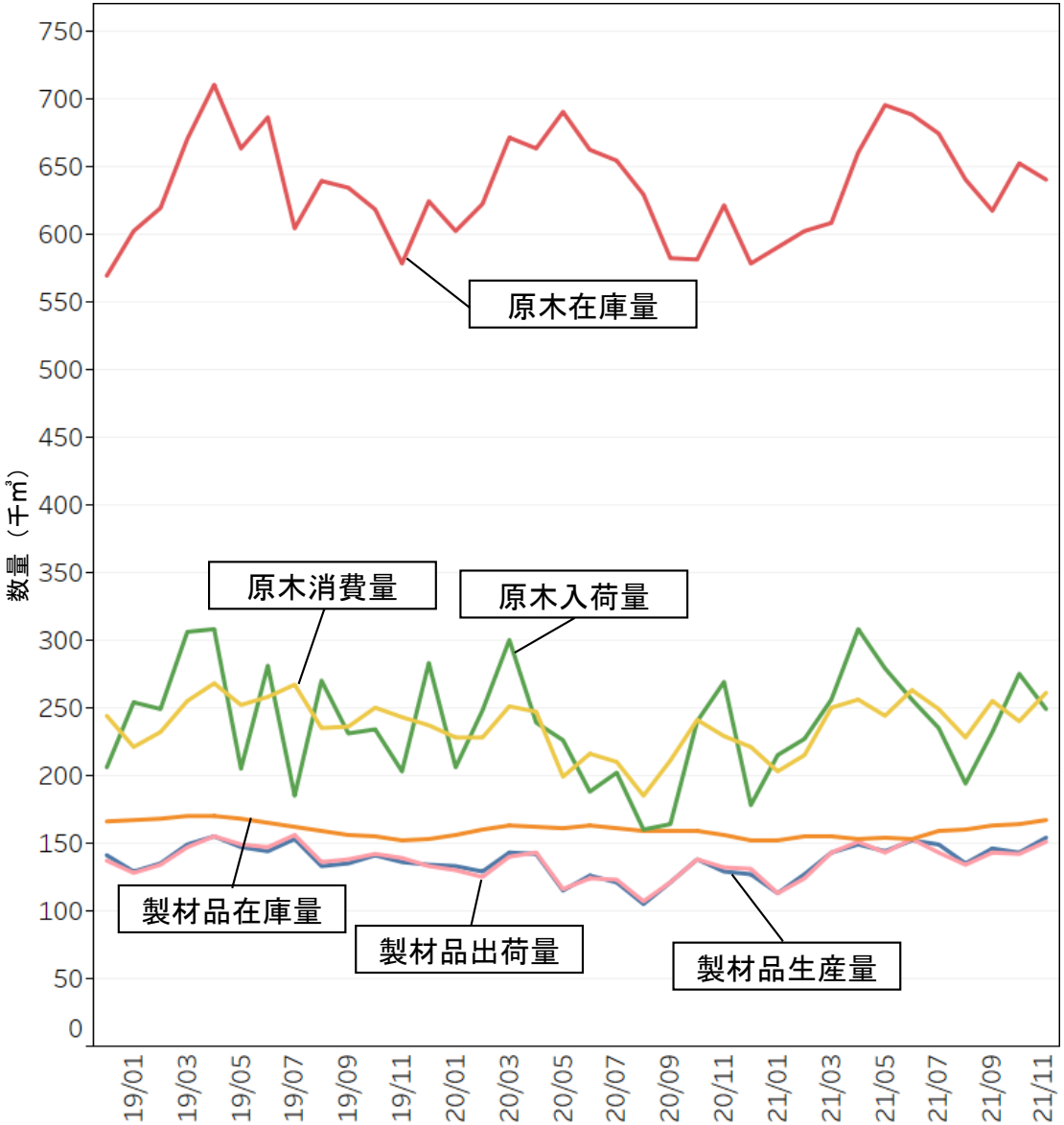


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～11月原木入荷量合計（千m3）	15,114	15,276	15,534	13,615	15,352
2019年との比較※	97%	98%	—	88%	99%
1～11月出荷量合計（千m3）	8,535	8,383	8,455	7,471	8,337
2019年との比較※	101%	99%	—	88%	99%

※2019年の数値を100%とした比較

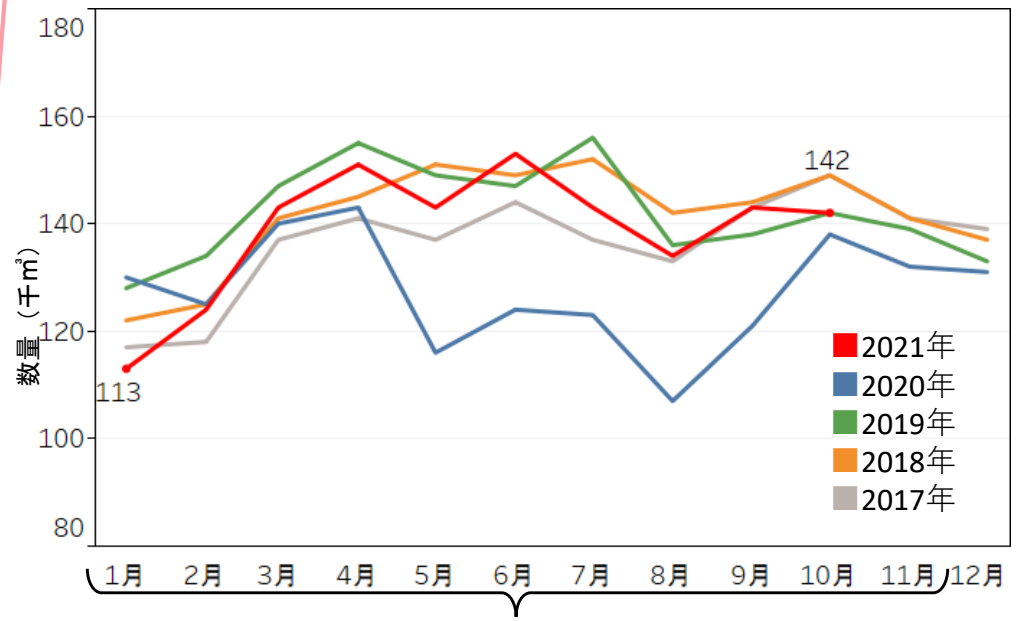
（１）製材（関東地区）

- 2021年１～11月の原木の入荷量は2,726千㎥（2019年比100%）。
- 同様に製材品の出荷量は1,540千㎥（2019年比98%）、コロナ禍前の水準となっている。



資料：農林水産省「製材統計」

製材品出荷量の月別推移（関東地区）

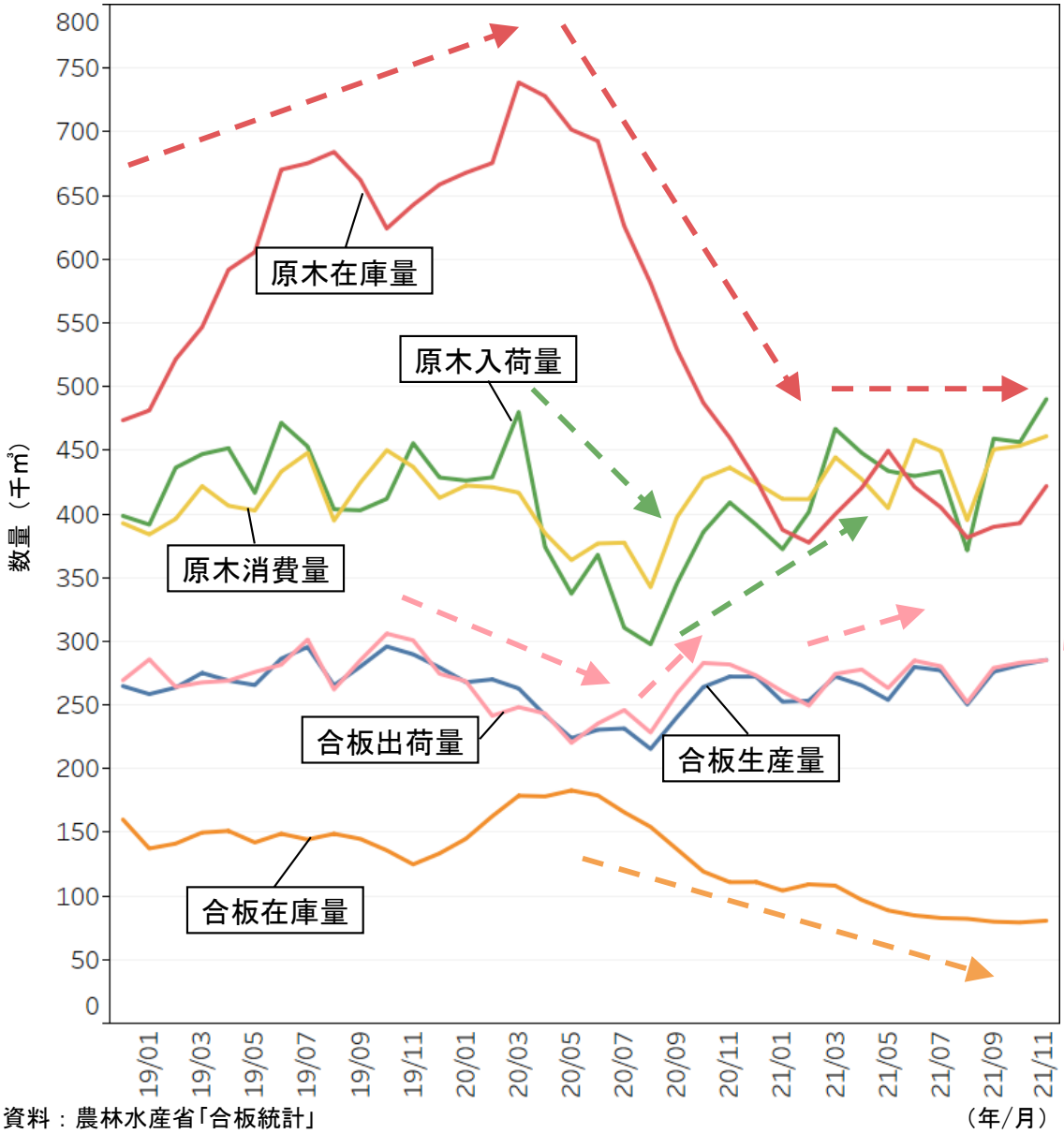


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
１～11月原木入荷量合計（千m3）	2,496	2,717	2,726	2,442	2,726
2019年との比較※	92%	100%	—	90%	100%
１～11月出荷量合計（千m3）	1,497	1,561	1,571	1,399	1,540
2019年との比較※	95%	99%	—	89%	98%

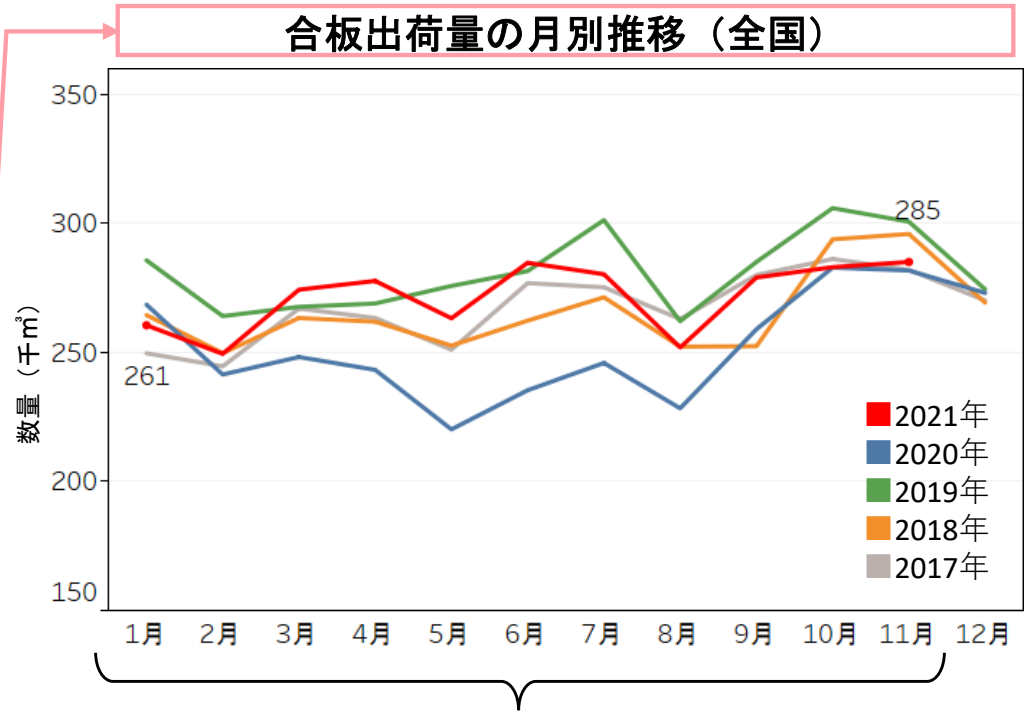
※2019年の数値を100%とした比較

（２）合板（全国）

- 2021年１～11月の原木の入荷量は4,762千㎥（2019年比100%）。在庫量は低い水準となっている。
- 同様に合板の出荷量は2,990千㎥(2019年比96%)、コロナ禍前の水準となっている。在庫量は2020年５月から減少傾向。



資料：農林水産省「合板統計」

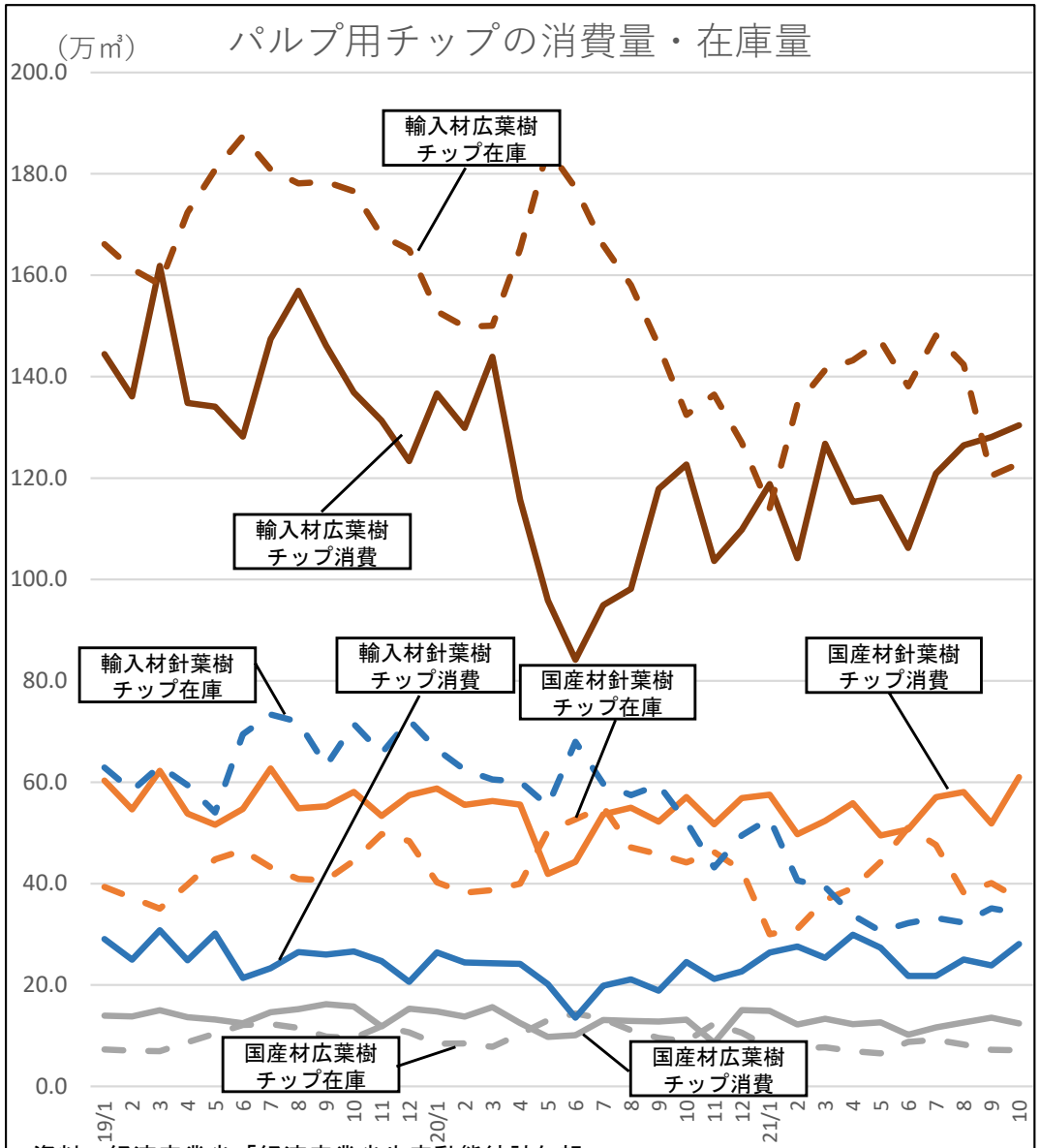


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1～11月原木入荷量合計（千m3）	4,220	4,532	4,741	4,162	4,762
2019年との比較※	89%	96%	—	88%	100%
1～11月出荷量合計（千m3）	2,939	2,920	3,099	2,755	2,990
2019年との比較※	95%	94%	—	89%	96%

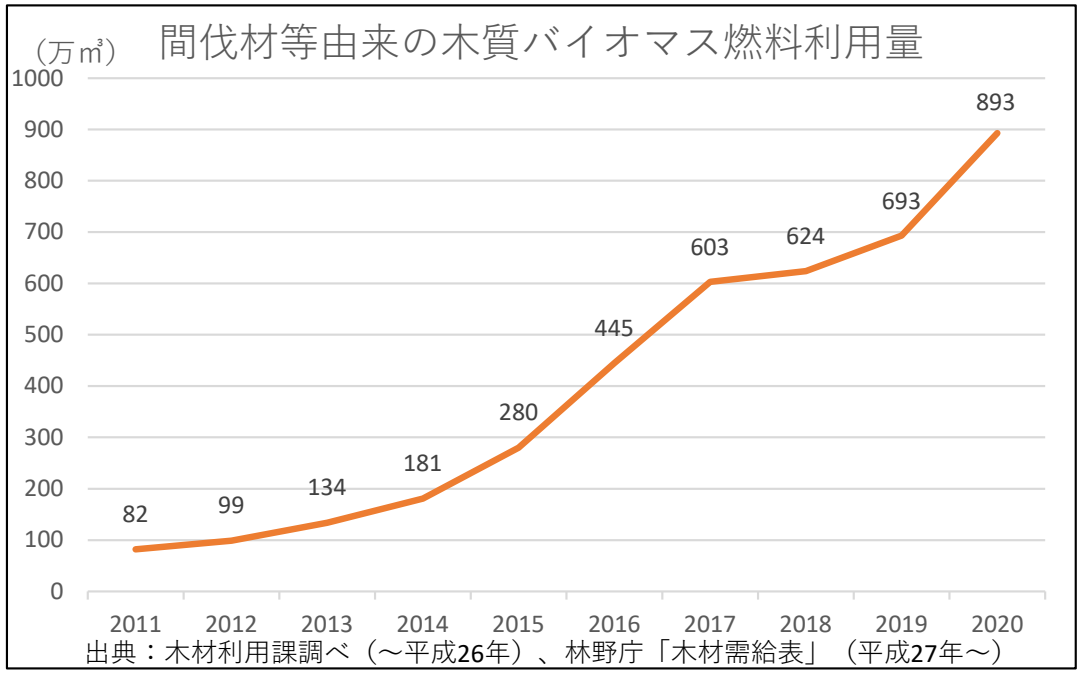
※2019年の数値を100%とした比較

（3）チップ（全国）

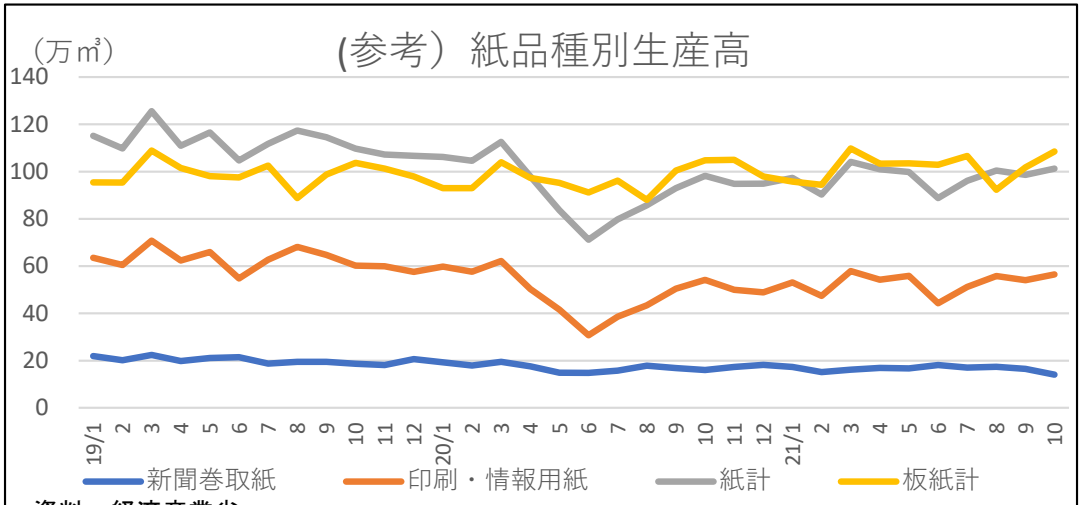
- パルプ用チップの消費について、**輸入広葉樹チップの消費量は2020年４月から６月まで激減**した。その後は回復傾向。**国産針葉樹チップの消費量は、2020年５月に大きく減少**したが、その後回復した。
- **木質バイオマス発電向け燃料**は、一貫して**増加傾向**が続いている。
- **紙の生産高は2020年６月に減少**したが、その後一定程度回復している。



資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報　紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」



出典：木材利用課調べ（～平成26年）、林野庁「木材需給表」（平成27年～）

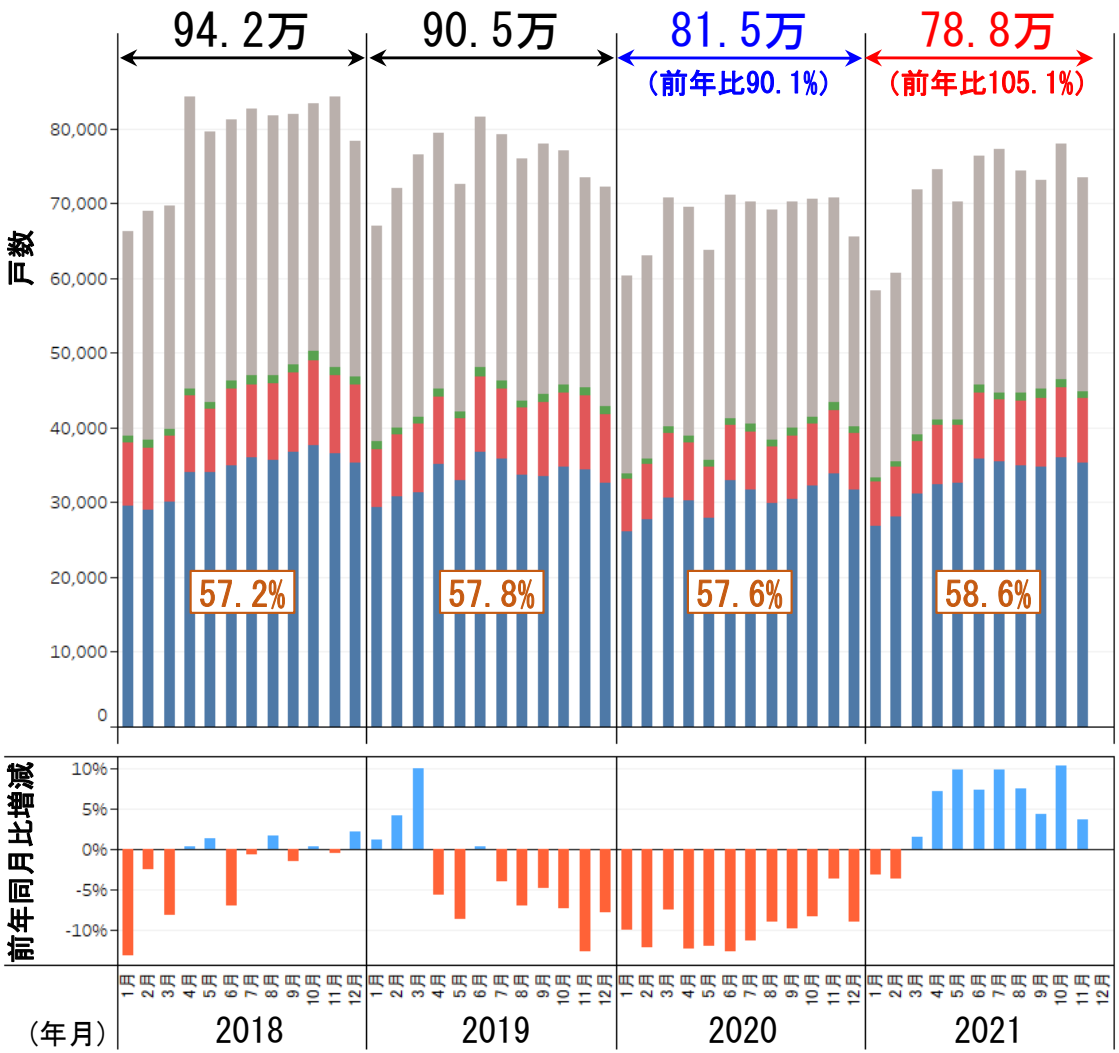


資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報　紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

3　住宅着工戸数の動向　（１）全国の住宅着工戸数（2018年１月～2021年11月）

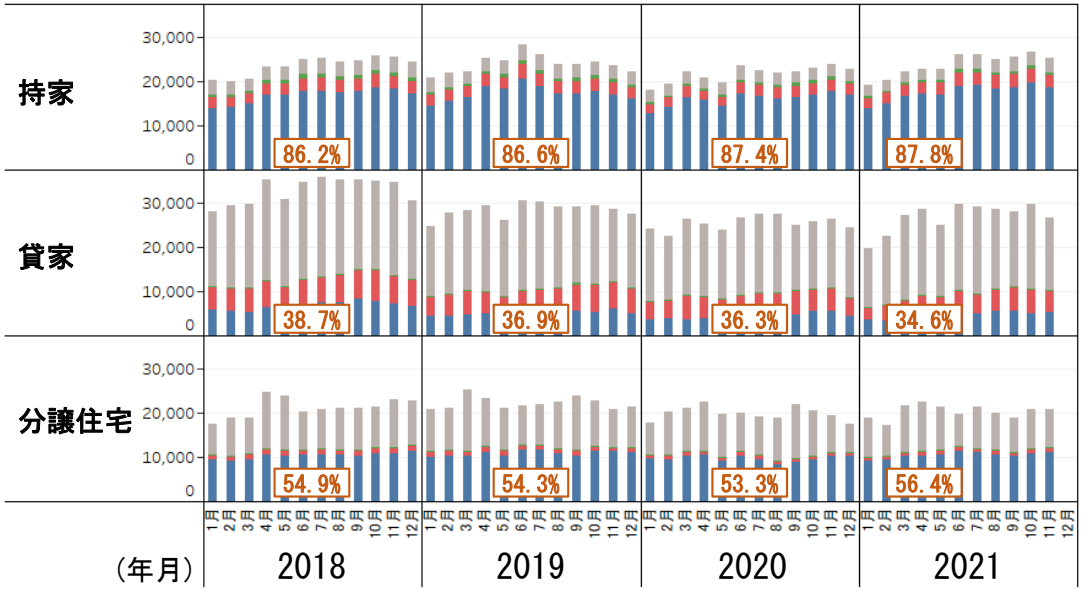
- **2020年の新設住宅着工戸数**は、**81.5万戸**（前年比90.1%）、このうち**木造住宅は46.9万戸**（同89.7%）。
- **2021年１～11月の新設住宅着工戸数**は、**78.8万戸**（前年比105.1%）、このうち**木造住宅は46.1万戸**（同107.5%）。
- 2020年は緊急事態宣言の発令により、住宅展示場の来場者数が落ち込むなど大手・注文住宅の受注機会が大幅に減少したが、郊外の戸建住宅に需要が高まるなど**全体としてはリーマンショック時ほどの落ち込み※は見られなかった。**
（※2009年の新設住宅着工戸数は前年比72%となった。）

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2021年 1～11月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	788,091	749,697	105.1%	832,949	94.6%
非木造	326,621	320,609	101.9%	352,452	92.7%
木造	461,470	429,088	107.5%	480,497	96.0%
木造プレハブ	9,685	9,918	97.7%	11,129	87.0%
２×４	88,202	85,441	103.2%	100,406	87.8%
在来軸組	363,583	333,729	108.9%	368,962	98.5%
□木造率	58.6%	57.2%		57.7%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」